

## 普及現地情報



発信年月日：令和5年（2023年）9月 22日  
所 属 名：高島農産普及課  
番 号：H23009  
部 門 分 類：150 野菜  
発 信 者 名：中川、深澤

### 水稲跡トレビスの機械定植支援を行いました！

9月11日に新旭町藁園の水稲跡ほ場で乗用汎用レタス移植機を用いたトレビスの定植が行われました。

トレビスはヨーロッパ原産の赤紫色の野菜で、キク科の多年生野菜であるチコリの一種とされます。紫キャベツとは異なり、独特の苦みがあり、主に葉を食べる野菜です。

トレビス栽培の利点として水稲跡のような土壤水分の比較的高いほ場で栽培可能で、球重が軽く収穫が容易であること。また、その独特の苦みから害虫の発生も少なく、省力的に栽培できることが挙げられます。

今年度、トレビスは全農の新たな推奨品目として、JA レーク滋賀管内全域で試作に取り組みされており、高島では3名の生産者が合計43aの面積で栽培されることから当課も支援を行いました。

9月11日は生産者1名の30aのほ場で2～3葉期の苗を定植しました。当課からは定植後の栽培管理やほ場の排水対策の必要性について農業者に説明を行いました。定植にあたって、全農の実証機が用いられ、80mの畝に必要な1400株を25分で定植でき、非常に作業効率が高いことが確認できました。その後、残り2名の方のほ場でも作業が行われ、9月15日までに全ほ場にてトレビスの定植が完了しました。

当課は今後も関係機関と連携しながら、良品生産がされるよう栽培支援を行います。



定植直前のトレビス苗



移植機を用いた定植作業